

花岡 中 学 区

1 はじめに

研究テーマ「花岡の子どもたちが健やかに成長するための小・中連携はどうあればよいか」のもと、今年度の小・中連携研究を進めてきた。特に、表現力を高めることやよりよい人間関係を築くということを重点とし、これを小・中共通の課題として実践していくことにした。日頃の交流を大切に、9年間を見通した児童生徒の育成に取り組んだ。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月26日	第1回小・中連携委員会 (今年度の活動計画について)	9月15日	指定訪問参観・協議④(中学校 社会)
		9月21日	小・中連携研究会 小学校会場 (授業参観, 研究会)
6月14日	中学校教員による小学校での授業 (体育)	10月18日	指定訪問参観・協議⑤ (中学校 数学・体育)
6月8日	指定訪問参観①(小学校 特支)		
6月15日	指定訪問参観②(小学校 国語)	11月10日	市教研参観・協議⑥(小学校 外国語)
9月13日	6年生の中学校訪問(体験学習)	11月19日	保・小・中PTA合同研修会 (講師: 桑名 秀明 氏)
9月14日	指定訪問参観・協議③ (小学校 社会)		
		3月1日	第2回小・中連携委員会

3 活動の実際

(1) 表現力の向上

9月に行われた小・中連携研究会では、表現力を高めるために、小中それぞれが行っている取組について紹介し合った。その後、共通して取り組めるものは何かについて話し合い、以下の4点について実践していくことにした。

- ①表現力を高めることを教員が様々な場面で児童生徒に意識付ける。
- ②堂々と表現できるような環境(人間関係)づくりに努める。
- ③学習のルールを徹底させる。
- ④効果的に表現するための方法を指導する。



【6年生の中学校訪問】

(2) 生徒指導上の連携

- ①カードや通信ゲーム機による生徒指導上の問題、携帯電話やインターネットによるトラブルが発生しているため、少しでも早い段階から保護者への働きかけを行う。
- ②小・中のギャップを埋めるため、小学校の高学年から、服装や身だしなみ、言葉遣い等について指導していく。

(3) 授業交流

昨年度に引き続き、お互いの指定訪問研究会等へ参加した。今年はさらに連携を深めるために互いの研究協議にも参加し、共通の評価カードを作成して活用した。

4 おわりに

花岡地区の子どもたちは、ほとんどが保育所から一緒に学習したり生活したりしている。固定した人間関係はマイナス的に捉えられがちであるが、プラスに作用することもたくさんあり、固定しないように刺激を与えることで、活躍の場を多く与えることができる。

小・中が同じ目標に向かって連携し合うとともに、保護者や地域の力も借りながら、今後も多くの人や物とかかわり、自分の考えを外に発信できる子どもたちを育てていきたい。